# 10 アフターサービスについて

## 保証書

●別に添付しています保証書の「お買い上げ日」「販売店名」欄の記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間中に修理を依頼される場合

●この製品の保証期間はお買い上げの日から7年間です。
●修理を依頼されるときは、下記フリーダイヤルへご連絡ください。
（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

⚠ 注意　※つぎの場合には有料修理となりますのでご注意ください。

1. 「取扱説明書」の記載内容以外の使い方による故障。
2. 一般水道水以外の水を使用された場合の故障および損傷。
3. 地震、火災、水害など天災による故障および損傷。
4. お買い上げ後の落下、交通事故などによる輸送中の損傷。
5. 消耗品の交換。
6. 寿命による電極板の交換。
7. 保証書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。または、字句を書き換えられた場合。
8. 保証書のご提示がない場合。
9. 適切な使用、維持管理を行なわなかったことに起因する不具合。
10. 施工説明書などに基づかない施工、分解などに起因する不具合。
11. 建物の変形など商品以外の不具合に起因する不具合。
12. 砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
13. 寒冷地仕様でない場合の凍結に起因する不具合。

## 保証期間後に修理を依頼される場合

●下記フリーダイヤルへご連絡ください。ご要望によって有料にて修理いたします。

## 水漏れ時の対処方法

●ブザーが鳴り、非常用電磁バルブが給水をストップします。必ず先に、給水バルブを閉じてください。その後コンセントを抜いてから、販売店または下記フリーダイヤルへお問い合わせください。

⚠ 警告

自身での本機の改造・分解・修理は絶対にしないでください。火災、感電の原因となります。
その結果生じた事故については、一切責任を負いかねます。

※ご不明な点は、お求めの販売店または下記フリーダイヤルへお問い合わせください。


総発売元　株式会社エナジック

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目1番6号 越前屋ビル7F
TEL.03-5205-6030 FAX.03-5205-6035
フリーダイヤル 0120-84-4132（ハヨ ヨイミズニ）
受付時間：平日 9:00～18:00　土曜 9:00～17:00（日・祝日休み）


医学団体 日本成人病予防協会認定品

販売店

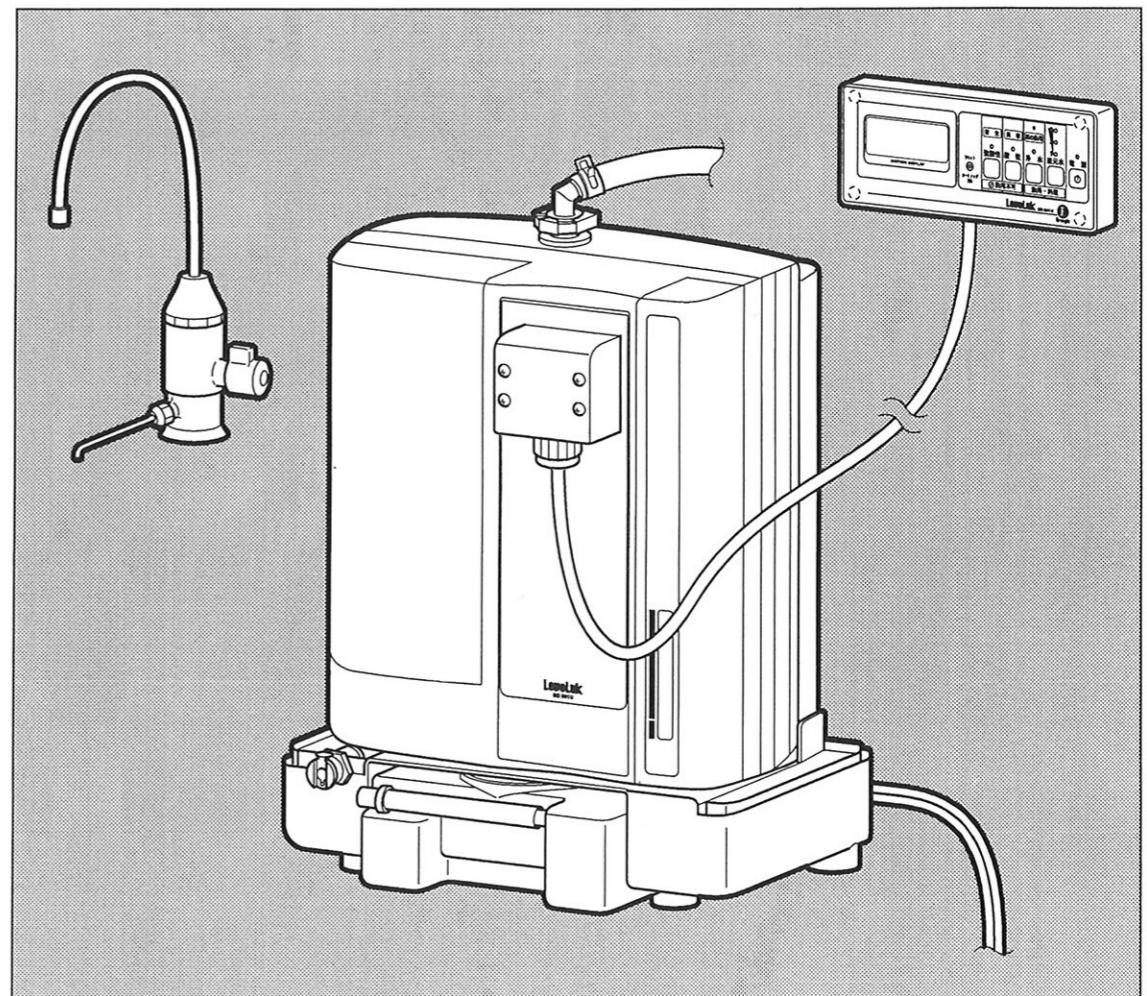
Made in Japan　2009.08

LIFE SCIENCE WATER APPARATUS

●必ずお読みください。
●正しくご使用ください。
●必ず保管してください。

# LeveLuk SD501U

還元水・強酸性水連続生成器

# 取扱説明書

このたびは〈LeveLuk SD 501U（アンダーシンクタイプ）〉をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品の機能を生かして上手にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、大切に保管してください。

# 目　次

# ■はじめに

## ●本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて、重要な事項を記載しています。
それぞれのマークについては、下記に説明いたしますが特に次の**警告・注意マーク**がついている文章は、必ずお読みください。

**危険度の目安**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、最悪の場合、人命にかかわる可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

## ●表示マークの説明

| マーク | タイトル | 意　味 |
|---|---|---|
| | 一　般 | 特定しない一般的な注意、警告、危険の通告に用いる。 |
| | 一　般 | 特定しない一般的な禁止の通告に用いる。 |
| | 一　般 | 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示に用いる。 |
| | 火気禁止 | 特定の条件において、外部の火気によって製品が発火する可能性がある場合の禁止の通告に用いる。 |
| | 風呂、シャワーなどの水場での使用禁止 | 防水処理のない機器を水場で使用して、漏電によって傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告に用いる。 |
| | 分解禁止 | 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告に用いる。 |
| | 電源プラグをコンセントから抜く | 故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示する表示に用いる。 |

※ここに示した注意事項は「⚠警告」「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを、特に「⚠警告」の欄にまとめて掲載しています。
しかし、「⚠注意」の欄に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれの場合も安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※正しい設置をされていても、正しく使用されなかった場合の製品の故障、事故については当社は責任を負いませんのでご了承ください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。



# ■強酸性水・酸性水・還元水の使用上のご注意

## ⚠警告 －安全のために必ずお守りください。－

必ず守る

- ●次の方は強酸性水、酸性水を使用する前に医師に相談してください。
  ■肌の弱い方　■アレルギー体質の方
- ●強酸性水、酸性水を使用して肌に異常を感じたときは、速やかに使用を中止して医師に相談してください。
- ●生成した還元水を飲用する場合、次のことに注意してください。
  - ■医薬品を生成水で飲用しないでください。
  - ■じん（腎）不全、カリウム排せつ（泄）障害などの（腎）疾患の人は、飲用しないでください。
  - ■飲用して身体に異常を感じたとき、または飲用し続けても症状に改善が見られない時は、飲用を中止し、医師に相談してください。
  - ■医師の治療を受けている人、特にじん（腎）臓に障害がある人および、身体に異常を感じている人は、飲用前に医師に相談してください。
  - ■ミルクや、乳児用食品に還元水を使用しないでください。

## ⚠注意

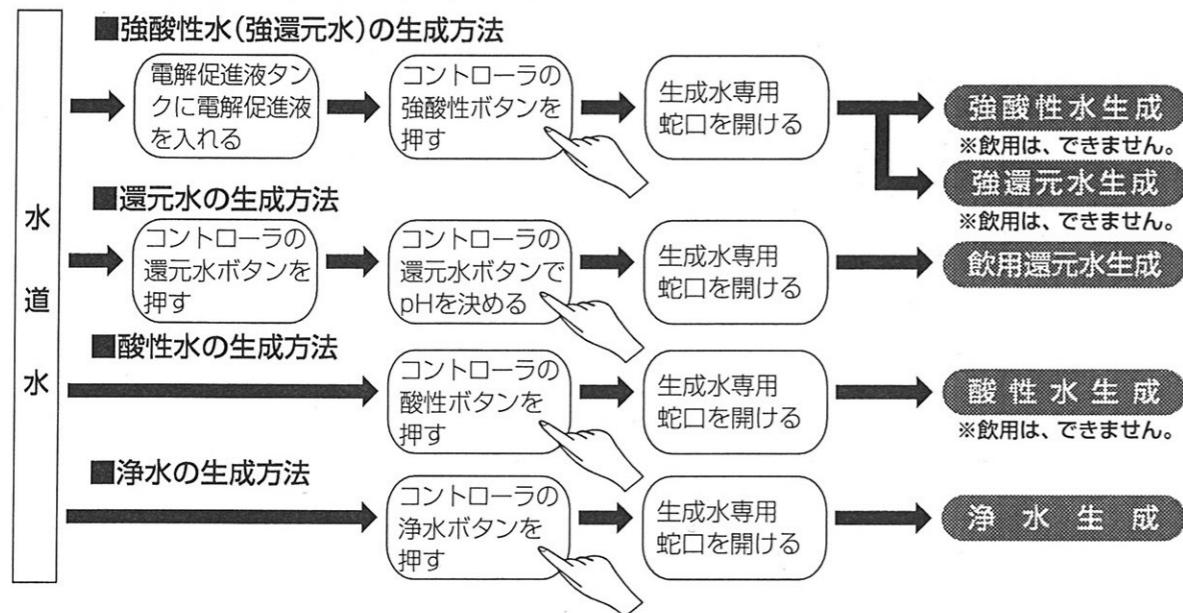
禁止

- ●次のような水は飲まないでください。体調を損なうことがあります。
  ■強酸性水　■pH（ペーハー）測定液の入った水
  ■酸性水　■強酸性水生成時の強還元水　■下部吐水口から排出される水
  ■クリーニング中の水　■排水タンク内の水
- ●還元水を飲用に用いるときは、pH9.5までを適値とし、pH10以上は飲用に適さないので直接飲用しないでください。また、測定は定期的におこなってください。
- ●還元水の飲用量は、1日当たり500～1,000mL程度を、適量として使用ください。
- ●生成水は、生成後速やかにご使用ください。
- ●金魚や熱帯魚など、魚類の飼育水として使用しないでください。環境が変わり死ぬことがあります。
- ●酸に弱い銅製容器や、アルカリに弱いアルミ容器は使用しないでください。容器が破損することがあります。

必ず守る

- ●強酸性水を容器に入れて保存される場合、ガラス容器･ポリ容器･陶器等耐蝕性に優れた容器を使用してください。金属容器は強酸性水により腐食するため使用しないでください。
- ●強酸性水を保存する場合は必ず密閉し、光の入らない容器に保存し、1週間以内に使用してください。
- ●強酸性水（酸性水）で金属製の包丁やスプーン等を洗浄した場合、水気を十分拭きとり、乾燥させてください。濡れたまま放置しますと、サビの原因となります。
- ●還元水を保存する場合は、必ず密閉した容器で冷蔵庫に入れ、3日以内に使用してください。
- ●最初に装置を使う時、新しい浄水フィルターを使う時は、3分以上通水後にご使用ください。
- ●毎日の使い始めは、10秒以上通水後にご使用ください。
- ●数日間使用しない時は、30秒以上通水後にご使用ください。
- ●消耗品、および使用しなくなった機器の廃棄は、地域で定められた条例に従って実施してください。

# ■特　長

●ワンタッチ操作で 強酸性水・強還元水・還元水・酸性水・浄水 の5種類の生成水をつくることができます。用途に応じてお使い分けください。

■用途に合わせて5種類、7段階の生成水をご利用になれます。

| 生成水 | pH濃度 | 用途 | ⚠注意 |
|---|---|---|---|
| 還元水 | pH9.5 | **麦茶などに**<br>麦茶や、ウーロン茶などをつくる場合に最適です。 | 医薬品を飲むときは、使用できません。浄水モードでご使用ください。 |
| | pH9.0 | **日本茶・炊飯などに**<br>お茶はまろやか、ごはんもつや良くふっくらと炊き上がります。<br>おいしく健康的な毎日の食事に最適です。 | |
| | pH8.0 | **健康によい水**<br>還元水を初めてお飲みになる方は、身体が慣れるまでこのpH値が適しています。 | |
| 浄　水 | pH7.0 | **薬の服用時や、赤ちゃんのミルク溶きに**<br>中性の水です。日常飲むのはもちろん、特に医薬品を飲む場合などにご利用ください。 | —— |
| 酸　性 | pH6.0 | **お肌のお手入れに**<br>洗顔、入浴などにご使用ください。 | ※飲用は、できません。 |
| 強酸性 | pH2.5 | **手指・台所用品などの洗浄に**<br>包丁やまな板など台所用品の洗浄、湯飲みの茶シブ落としなどの食器洗いにご利用ください。 | |
| 強還元水 | pH11.0〜 | **洗浄用水**<br>タンパク質、脂質の汚れを落とします。 | |

（各種生成方法は、ご使用方法P.12〜をご参照ください。）

## ⚠警告

必ず守る

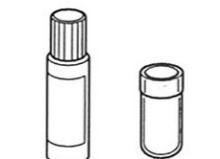
強酸性水生成中は、有害なガスが発生しますので、換気は十分におこなってください。
密室でガスが充満すると最悪の場合人命にかかわる場合があります。



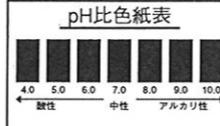
# ■付属品

## ●付属品

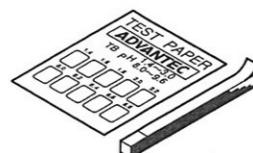
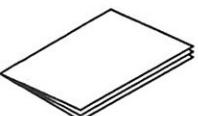
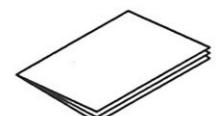
⚠注意 ●施工用付属部品は、施工説明書 P.6の「付属部品一覧」により、開梱時に確認してください。

使用に関して

pH試験液　試験容器
pH比色紙表

①pH試験液セット

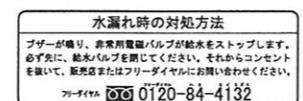
スプーン

②グリセロリン酸カルシウム（15g）

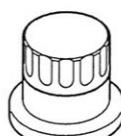
③電解促進液（440mℓ）

④ロート

⑤ブックpH試験紙

⑥取扱説明書

⑦施工説明書

⑧カートリッジ交換ラベル

⑨保証書

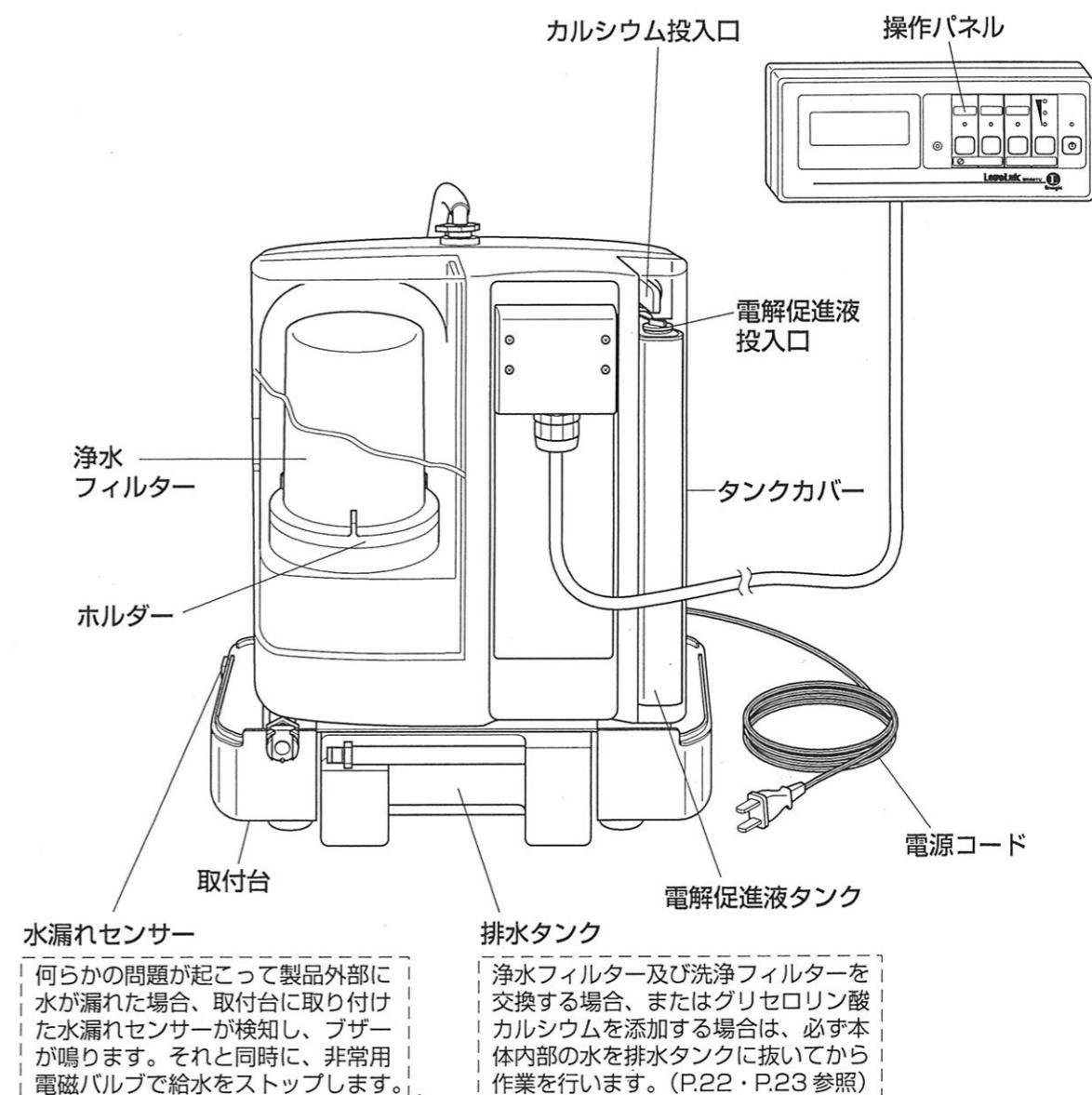
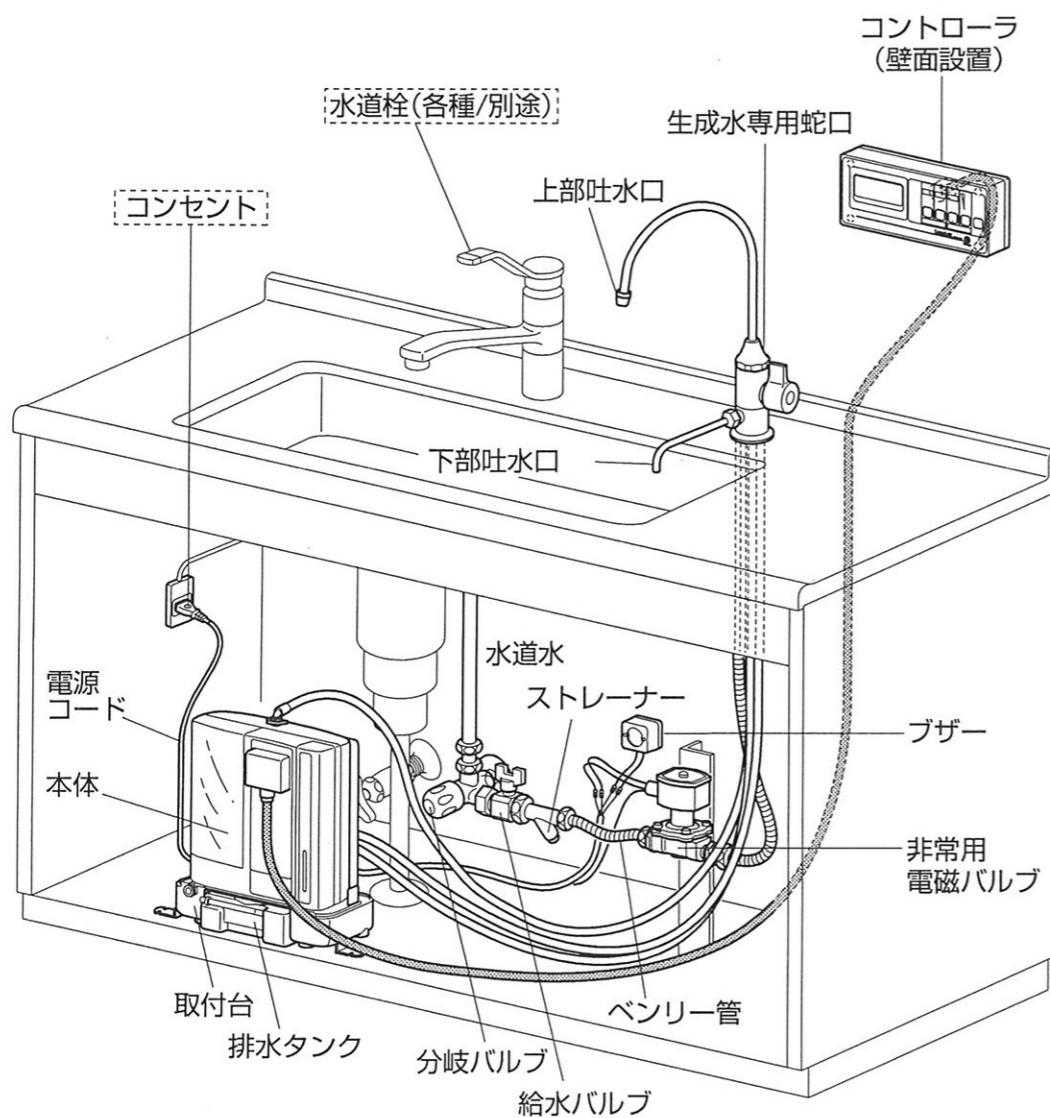
⑩交換用浄水フィルタ
鉛・塩素等除去タ

水漏れ時の対処方法
フリーダイヤル 0120-84-4132

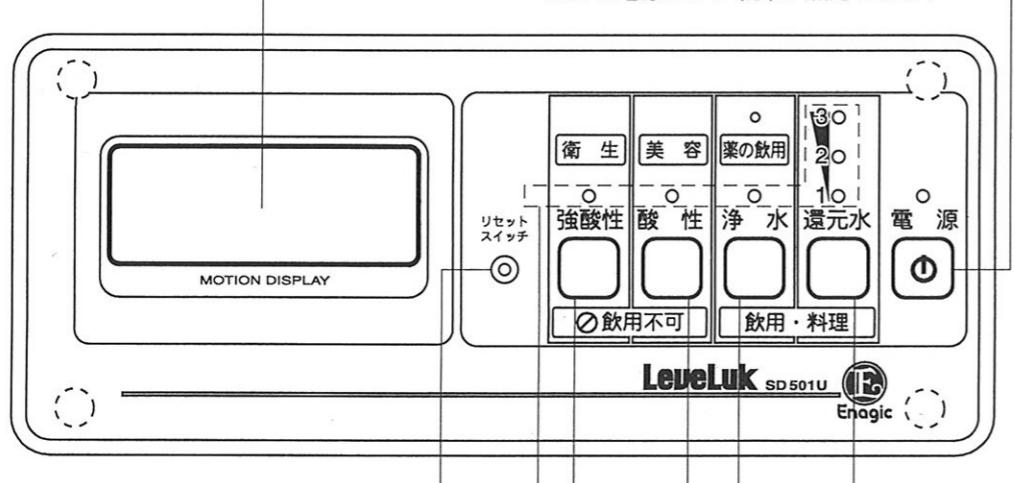
⑪非常時対処シール

⑫クリーニングパウダーユニット（CPU）

⑬クリーニングパウ

# ■各部の名称

本体は、流し台の中に設置され、生成水専用蛇口に接続されています。
（工事の詳細は、施工説明書を参照。）

**施工例**

## ■操作パネル

操作パネル

## ■液晶ディスプレイ文字表示、および音声ガイダンス一覧

〈その他〉

●水量が多い場合

スイリョウオオイ
スイセンシボル

ピーピーピー
＋
スイリョウガオオスギマス
スイセンヲシボッテクダイ

●強酸性水生成中に電解促進剤が無くなった時、または電解促進剤が入っていない時

ソクシンザイ
イレテクダサイ

ピーピーピー
＋
ソクシンザイガナクナリマシタ

●浄水フィルターリセットを押した時

フィルター
リセット

ピーピーピー
＋
フィルターリセットサレマシタ

●水量（圧）が足りない場合

スイリョウフソク
スイセンアケル

ピーピーピー
＋
スイリョウガスクナスギマス
スイセンヲアケテクダサイ

●温度保護作動時

オンド ホゴ

ピーピーピー
＋
オンドホゴガハタラキマシタ

水栓を閉めて電源を切り約30分間お待ちください。（使用環境により30分以上かかる場合があります。）

●熱水が流れた時

ネッスイ ホゴ

ピーピーピー
＋
キュウスイオンドガタカスギマス

●浄水フィルター交換時期

フィルター
コウカン

ピッピッピ

●電源コンセントを入れた後3秒間表示

○○○○○○H
○○○○○○H

（異常ではございません）

※この表示中は電源ボタンを押しても受けつけません。この表示が消えてから電源ボタンを押してください。

# 1 準 備

## ■設置場所の選定

### ⚠警告

禁止

●強酸性水生成時に、塩素ガスが発生しますので、閉めきった狭い部屋でのご使用はお避けください。
●本製品は重量物であり、化学的な物質を生成することから
・製品の転倒による人身への損傷や製品および製品周辺物の損壊
・製品運転中に発生するガスによる中毒
等の危険性がありますので、以下の事を必ず守って設置してください。
●誤った吐水配管は、故障・水漏れの原因となりますので、以下の項目を守り配管をおこなってください。

### ⚠注意

必ず守る

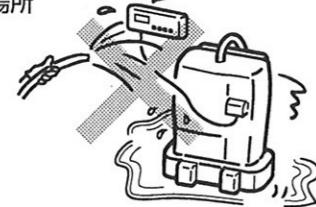
●本体の上に物を置かないでください。故障または、落下事故の原因となることがあります。
●下部吐水口はふさがないでください。(水モレ、または、電解に支障をきたすことがあります。)

●以下の場所に設置してください。

●換気が十分にできる風通しの良い場所

●可燃物が近くにない場所
●室内温度5～40℃以内である場所
●湿度90%を超えない場所

●設置面の歪まない水平で平坦な場所
●本体重量を確実に保持できる場所

●多量の水や蒸気のかからない場所
●薬品のかからない場所
●粉塵のかからない場所

## ■本体の設置方法

●本体の設置については、必ず別冊「施工説明書」を参照してください。
●正しい設置をされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
●この製品は家庭用電解水生成器です。業務用には使用しないでください。



# 電気配線について

■家庭用100V・50/60Hzのコンセントでご使用ください。

### ⚠注意

●本体に大量の水がかかったときは、感電の原因となります。
大量の水がかかったときは、
(1) コンセントから電源プラグを抜き
(2) 本体の水を拭き取り
(3) フリーダイヤル 0120 - 84 - 4132 にお問い合わせください。

●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。また、お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

禁止

●電源コードを、傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となることがあります。

●電源コードをステープル等で固定することは、おやめください。
電源コードが破損し、感電・発火の原因となることがあります。

必ず守る

●タコ足配線はおやめください。発熱し、火災の原因となることがあります。

●コンセント部にほこりがついた場合は、電源プラグを抜いて、拭いてください。
ほこりがついたままにしておくと、火災の原因となることがあります。

●電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ずプラグを持っておこなってください。コードを引っ張るとコードが傷み、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●表示された電源電圧(交流100V)以外では使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

# 2 ご使用方法（基本操作）

■本機は、4つの基本操作で 還元水 ・ 酸性水 ・ 強酸性水 ・ 強還元水 ・ 浄水 の5種類の生成水をつくることができます。

## ■ご使用時の基本操作について

| つくりたい生成水 | 操作方法<br>（コントローラ/生成水専用蛇口） | 生成される水と取水箇所 |
| --- | --- | --- |
| ① 還　元　水<br><br>⚠注意<br>医薬品を飲むときは、使用できません。 | (還元水) ボタンを押し、生成水専用蛇口のレバーを上にあげる。<br>● pH値を変更する場合は、(還元水) ボタンを押し、切り替える。（3段階）<br>pH 9.5 強　③ボタンを押す<br>↑<br>pH 9.0 中　②ボタンを押す<br>↑<br>pH 8.0 弱　①ボタンを押す<br>（くりかえし） | 還元水　（上部吐水口より吐出）<br>（約pH8.0/pH9.0/pH9.5）<br>酸性水　（下部吐水口より吐出）<br>※飲用は、できません。 |
| ② 浄　　水 | (浄水) ボタンを押し、生成水専用蛇口のレバーを上にあげる。 | ※医薬品を飲む場合には、浄水モードでお飲みください。<br>浄水　（上部吐水口より吐出）<br>（約pH7.0）<br>※浄水は、下部吐水口からも吐出しますが、上部吐水口より吐出する水をご使用ください。 |
| ③ 酸　性　水<br><br>⚠注意　飲用は、できません。 | (酸性) ボタンを押し、生成水専用蛇口のレバーを上にあげる。 | 酸性水　（上部吐水口より吐出）<br>（約pH6.0）<br>※飲用は、できません。<br>還元水　（下部吐水口より吐出）<br>※飲用は、できません。 |
| ④ 強酸性水<br>（※強還元水が、同時に吐出）<br>⑤ 強還元水<br><br>⚠注意　飲用は、できません。 | 電解促進液タンク内の容量を確認後、(強酸性水) ボタンを押し、生成水専用蛇口のレバーを上にあげる。 | 強酸性水　（下部吐水口より吐出）<br>（約pH2.5）<br>※飲用は、できません。<br>強還元水　（上部吐水口より吐出）<br>（約pH11.0〜）<br>※飲用は、できません。 |

## ⚠注意

禁止

●生成する水の種類により操作方法が異なります。
●必ず手順を守ってご使用ください。（P.14〜参照）
●誤った操作や設定をおこなうと、正常な動作をせず故障の原因となることがあります。

必ず守る

●最初に装置を使う時、新しい浄水フィルターを使う時は、3分以上通水後にご使用ください。
●毎日の使い始めは、10秒以上通水後にご使用ください。
●数日間使用しない時は、30秒以上通水後にご使用ください。

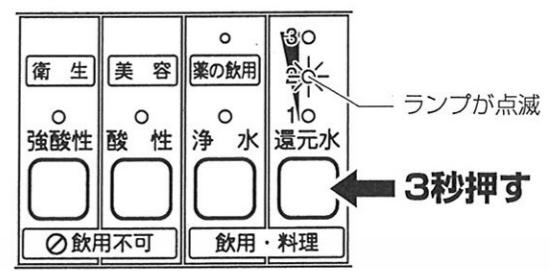


# 操作音量の変更について

■操作パネルのボタンで、音声の音量を調節することができます。

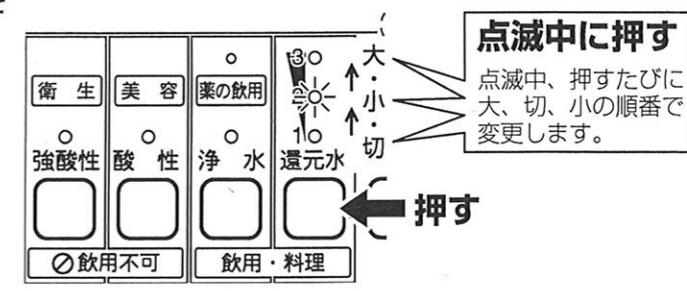
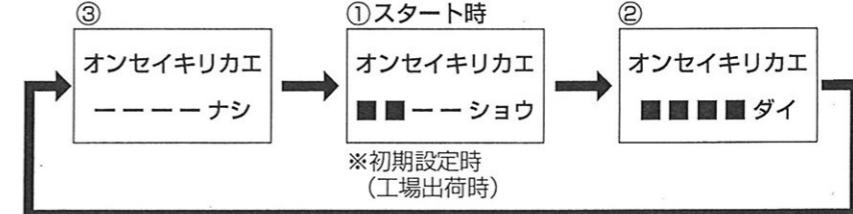
**1**

電源OFF（切）状態で、(還元水) ボタンを3秒以上押し、音声切替モードに設定します。
● 還元水ランプが点滅します。

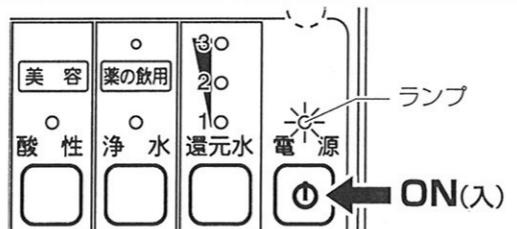
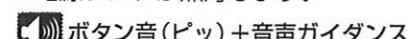
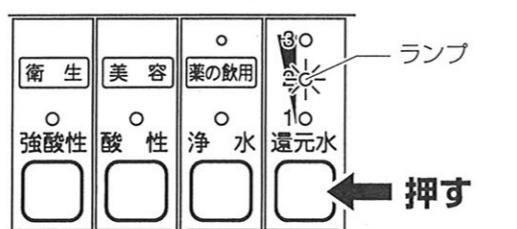
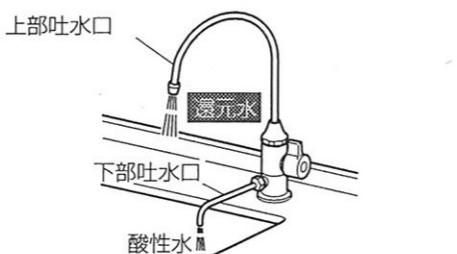
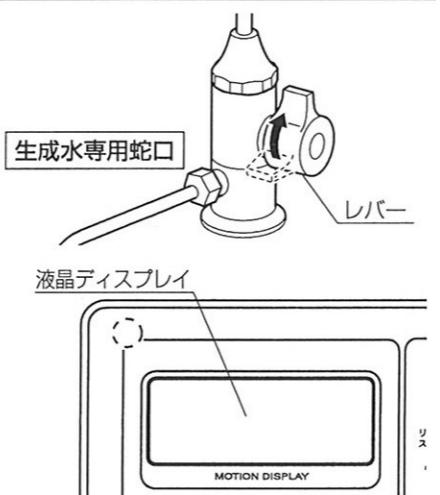
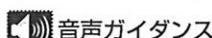
**2**

ランプが点滅中に (還元水) ボタンを押して音量を選択します。

**点滅中に押す**
点滅中、押すたびに大、切、小の順番で変更します。

■液晶ディスプレイの表示（音声切替モード時）

①スタート時：オンセイキリカエ ■■ーーショウ　※初期設定時（工場出荷時）
→ ②：オンセイキリカエ ■■■■ダイ
→ ③：オンセイキリカエ ーーーーナシ
→ ①へ戻る

**3**

音量設定操作終了後、15秒後に電源は切れます。または、(還元水) ボタン以外（電源・浄水・酸性・強酸性）のいづれかのボタンを押すと、すぐに電源は切れます。再度電源ボタンを押すと、生成水モードに戻ります。

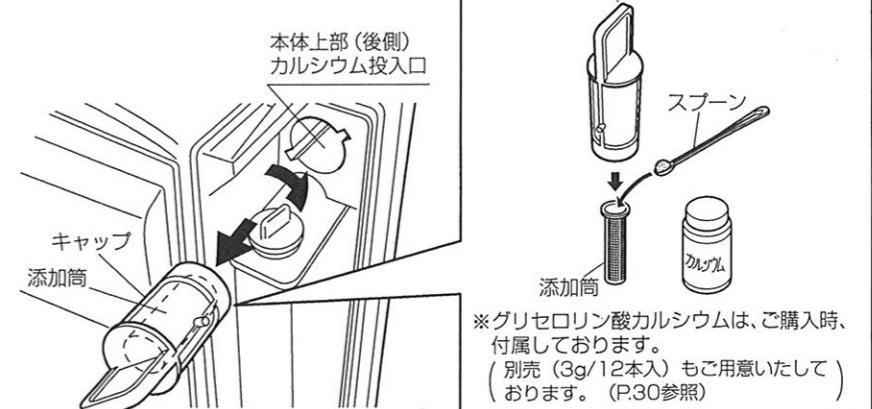
# 還元水のつくり方 ⚠注意 医薬品を飲むときは、使用できません。

| | |
|---|---|
| 1 | **(電源)ボタンを押してON（入）にします。**<br>● 電源ランプが点灯します。<br>ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス |
| 2 | **(還元水)ボタンを押し、還元水モード pH9.5・pH9.0・pH8.0のいずれかに設定します。**<br>● ボタンを押すごとに、3段階の切り替えができ、設定したランプが点灯します。<br>ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス<br>※pH値は、水質・水圧により変動します。 |
| 3 | **①生成水専用蛇口のレバーを上にあげます。**<br>**⚠注意**<br>● 給水量（給水圧）が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせします。（P.9参照）<br>※生成水専用蛇口のレバーを、さらに上にあげてください。<br>**②生成水が吐出します。**<br>● 上部吐水口から 還元水 が吐出します。<br>● 下部吐水口から酸性水が吐出します。<br>音声ガイダンス<br>**⚠注意**<br>● 初期の生成水は、使用しないでください。（LED点滅中の生成水）<br>（本体内残水を排出するため、30秒程度の捨て水をおこなってください。）<br>※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがありますが故障ではありません。<br>（浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなってから取水してください。） |
| 4 | **運転の停止方法**<br>● **生成水専用蛇口のレバーをたおして、生成を止めます。**<br>**（連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。）** |

生成水専用蛇口　レバー　液晶ディスプレイ　MOTION DISPLAY

上部吐水口　還元水　下部吐水口　酸性水



## グリセロリン酸カルシウム（付属）を添加してご使用される場合

- グリセロリン酸カルシウムを添加される場合は、**必ず本体の3水抜き方法（P.22〜23参照）を先に行って**ください
- タンクカバーをはずして、本体右上部のカルシウム投入口のキャップを右に回してはずし、添加筒にグリセロリン酸カルシウム（付属）を約2g（添加筒約8分目）入れます。
- 添加筒をキャップにはめ、キャップを本体元の位置に取り付けます。このときつまみが縦になっていることを確認します。

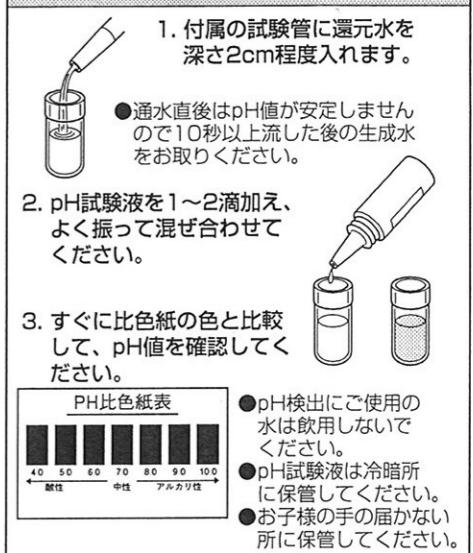
※グリセロリン酸カルシウムは、ご購入時、付属しております。
（別売（3g/12本入）もご用意いたしております。（P.30参照））

### ⚠注意

- グリセロリン酸カルシウム（付属）をご使用されると、還元水のカルシウム濃度が上がります。
- pH濃度も上がりますので、ご希望のpH値に(還元水)ボタンで設定してください。
- グリセロリン酸カルシウムを使用する場合は、内部にカルシウムが溶け残らないよう、時々カルシウム筒の洗浄をしてください。

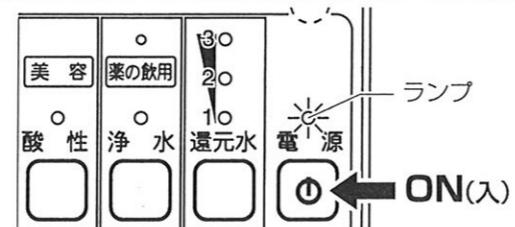
## 還元水のpH値測定方法

- 生成された還元水のpH値をpH試験液セット（付属）で測定してください。

適正値

**飲用可能範囲…約pH8.0〜9.5**

### ⚠注意

- pH値は水道の水質や水圧により変動します。

# 酸性水のつくり方　⚠注意 飲用は、できません。

| | |
|---|---|
| 1 | (電源) ボタンを押してON（入）にします。<br>●電源ランプが点灯します。<br>ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス |
| 2 | (酸性) ボタンを押します。<br>●酸性ランプが点灯します。<br>ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス |

**3**

①生成水専用蛇口のレバーを上にあげます。

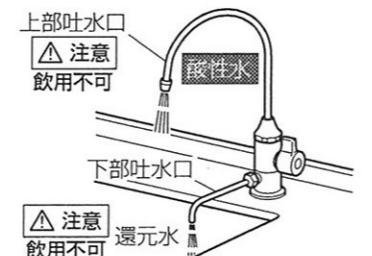
生成水専用蛇口　レバー

### ⚠注意

- 給水量（給水圧）が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせします。（P.9参照）
  ※生成水専用蛇口を、さらに上にあげてください。

②生成水が吐出します。

- 上部吐水口から 酸性水 が吐出し、生成音「ピーッピーッピーッ」が鳴ります。
- 下部吐水口から還元水が吐出します。

音声ガイダンス＋アラーム音（ピーッピーッピーッ）

### ⚠注意

- 初期の生成水は、使用しないでください。（LED点滅中の生成水）
  （本体内残水を排出するため、30秒程度の捨て水をおこなってください。）
  ※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがありますが故障ではありません。
  （浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなってから取水してください。）

**4**

運転の停止方法

- **生成水専用蛇口をレバーを手前にたおして、生成を止めます。**
  **（連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。）**



# 強酸性水・強還元水のつくり方　⚠注意 飲用は、できません。

■電解促進液約440mℓの投入（1回）で、強酸性水が約30ℓ生成できます。

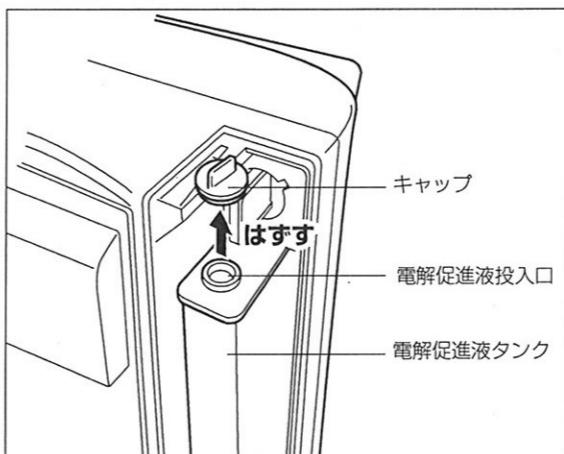
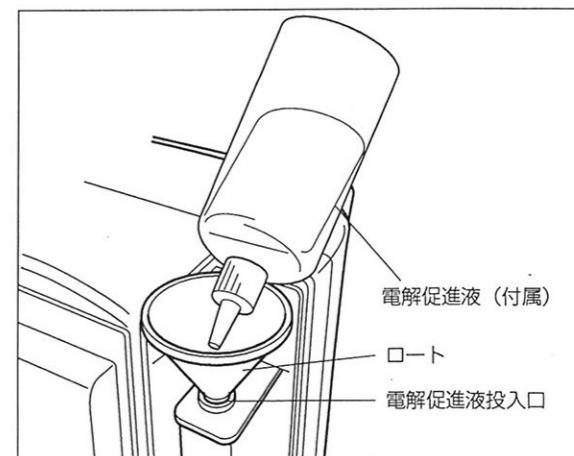
### ⚠警告

- 強酸性水生成中は、有害なガスが発生しますので、換気は十分におこなってください。密室でガスが充満すると最悪の場合人命にかかわる場合があります。

### ⚠注意

- 強酸性水をつくる場合、必ず事前に電解促進液をタンク本体に添加してください。
- 電解促進液は、必ず当社指定品をご使用ください。

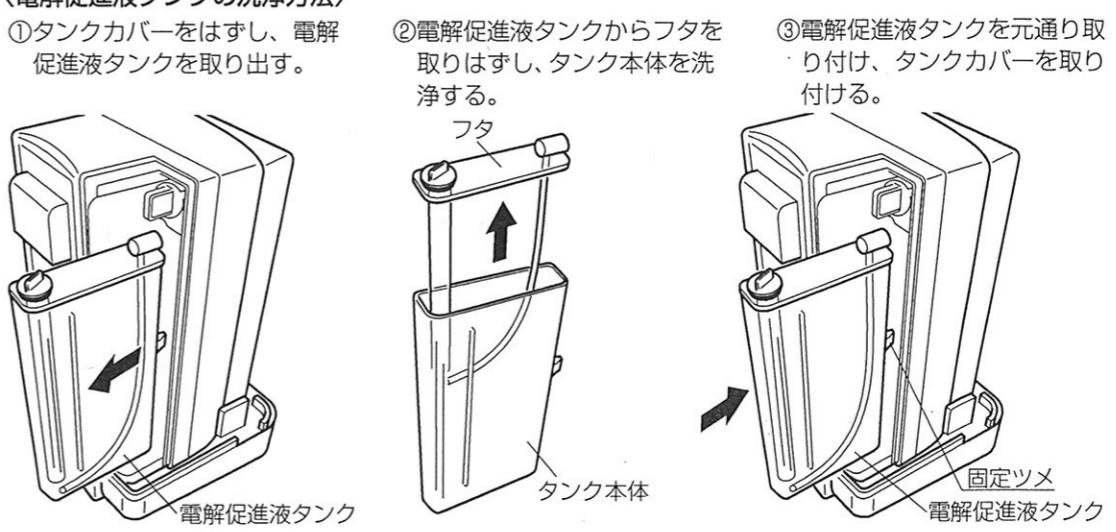
## ■電解促進液（付属）の添加方法

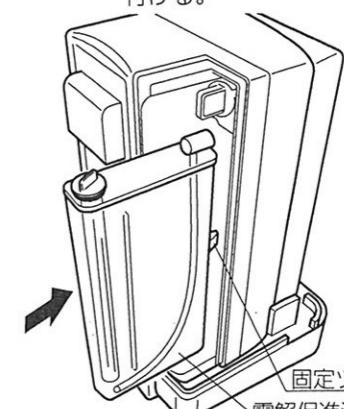
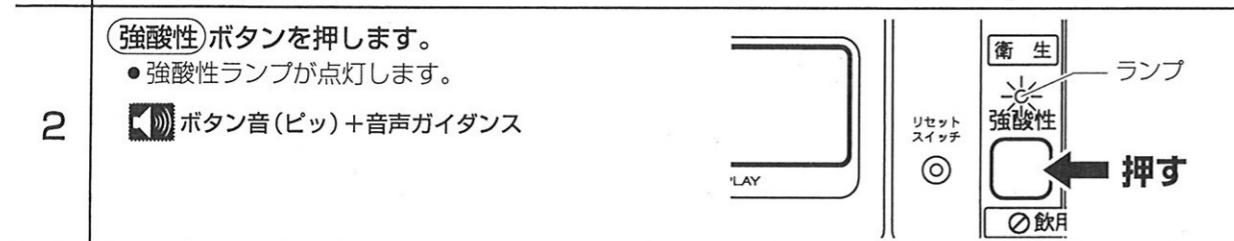
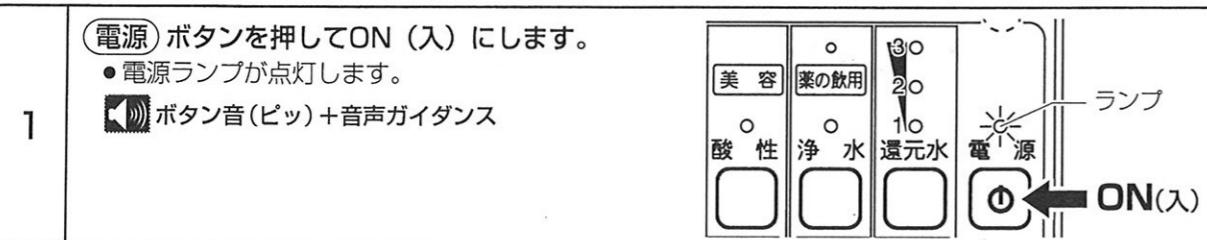
①タンクカバーをはずし、電解促進液タンクの電解促進液投入口のキャップをはずします。

②投入口から電解促進液約440mℓをタンク内に入れます。

③投入口にキャップを取り付け、締めます。

### ⚠注意

- 強酸性水生成後、他のモードに切り替えた時、洗浄待機状態になります。次に、還元水・浄水を生成開始時に約30秒間自動洗浄します。
- 電解促進液タンクは、時々洗浄してください。

〈電解促進液タンクの洗浄方法〉

①タンクカバーをはずし、電解促進液タンクを取り出す。

②電解促進液タンクからフタを取りはずし、タンク本体を洗浄する。

③電解促進液タンクを元通り取り付け、タンクカバーを取り付ける。

**1**

(電源) ボタンを押してON（入）にします。
- 電源ランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス

**2**

(強酸性) ボタンを押します。
- 強酸性ランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス

**3**

①生成水専用蛇口のレバーを上にあげます。

生成水専用蛇口

レバー

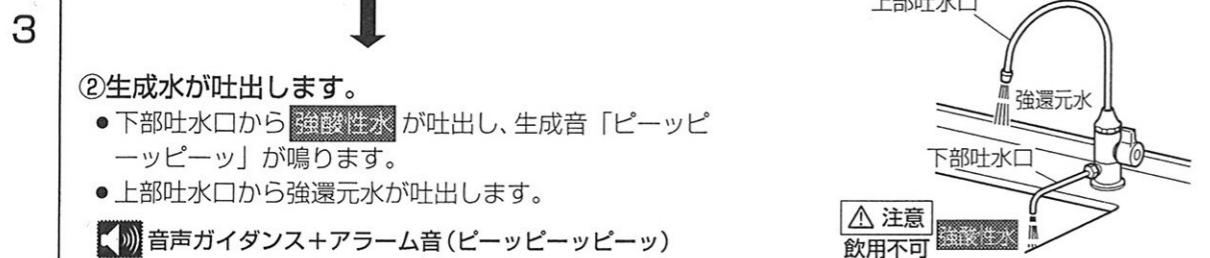
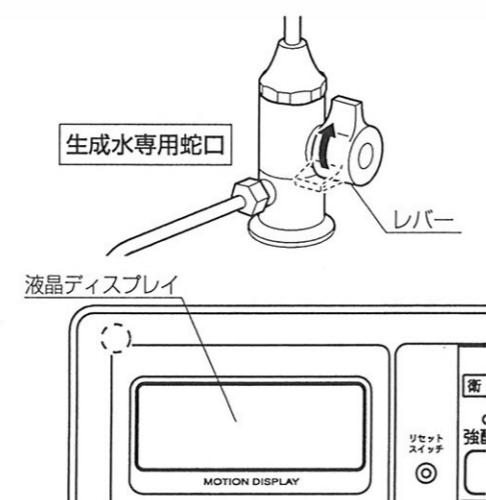
## ⚠ 注意

- 給水量（給水圧）が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせします。（P.9参照）
  ※生成水専用蛇口のレバーを、さらに上にあげてください。
- タンクの初期使用時、またはタンク内の電解促進液を使い切った場合には、電解促進液が電解槽に到達まで約40秒かかります。その間、液晶ディスプレイに「ソクシンンザイ　イレテクダサイ」と、エラー表示されますが、約20秒後、正常に動作いたしますのでお待ちください。

液晶ディスプレイ

②生成水が吐出します。
- 下部吐水口から強酸性水が吐出し、生成音「ピーッピーッピーッ」が鳴ります。
- 上部吐水口から強還元水が吐出します。

音声ガイダンス＋アラーム音（ピーッピーッピーッ）

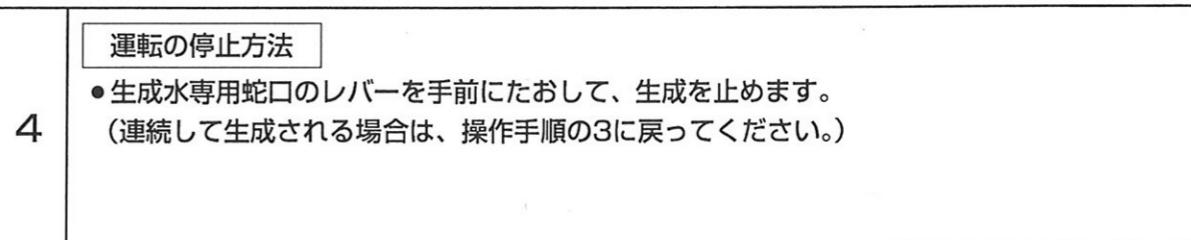
## ⚠ 注意

- 初期の生成水は、使用しないでください。（LED点滅中の生成水）
  （本体内残水を排出するため、30秒程度の捨て水をおこなってください。）
- 電解促進液が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせしますので、投入してください。
- 強酸性水・強還元水生成後、他のモードに切り替えた時、洗浄待機状態になります。次に、還元水・浄水を生成開始時に約30秒間自動洗浄します。

※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがありますが故障ではありません。
（浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなってから取水してください。）



**4**

運転の停止方法

- 生成水専用蛇口のレバーを手前にたおして、生成を止めます。
（連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。）

## 強酸性水のpH値測定方法

●ブックpH試験紙（付属）で測定してください。

### ■ブックpH試験紙使用方法

**1**

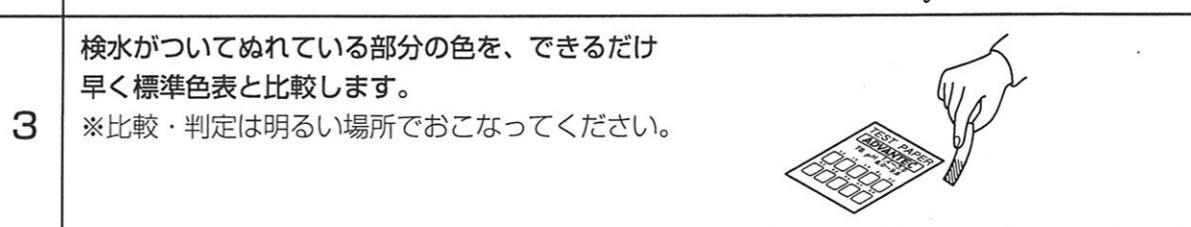
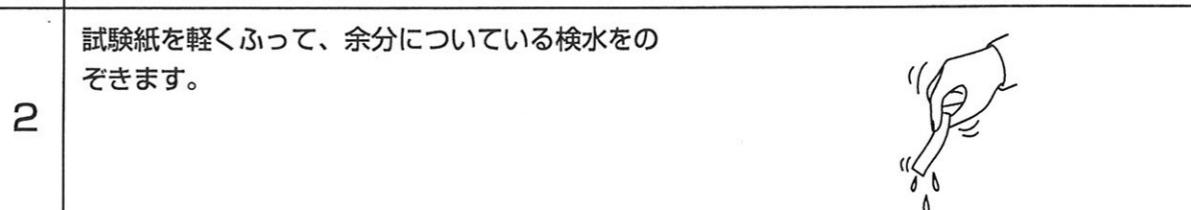
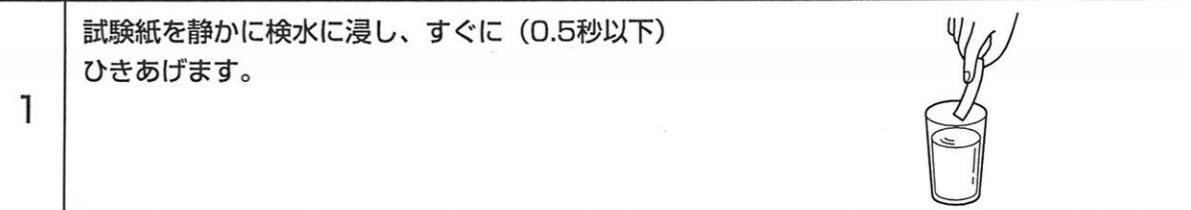
試験紙を静かに検水に浸し、すぐに（0.5秒以下）ひきあげます。

**2**

試験紙を軽くふって、余分についている検水をのぞきます。

**3**

検水がついてぬれている部分の色を、できるだけ早く標準色表と比較します。
※比較・判定は明るい場所でおこなってください。

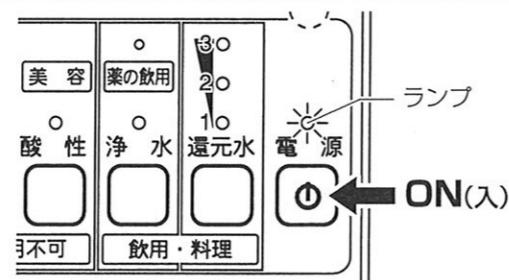
## ⚠ 注意

- ●pH試験液（赤色液）は、pH4.0以下の測定はできません。強酸性水は、pH試験紙で測定してください。pH3.0以下の測定ができます。
- ●pH試験紙は、強酸性水のpH測定にのみご使用ください。
- ●pH試験紙は、なめたりしないでください。また、誤ってなめた場合、すぐにうがいをしてください。
- ●試験紙を検水に永くつけておきますと色素が溶け出して、正しい結果が得られません。
  ※（0.5秒以下）
- ●試験紙を検水から引き上げてから永く置きますと、水分が蒸発したり、試験紙の上部ににじみ出し正しい結果を示しません。
- ●高温度の検水では試験紙からの色素の溶出がおこるので、検水を室温にしてください。
- ●試験紙は、保管状態で外観が変わる場合がありますが、実際の使用には影響がありません。
- ●試験紙は、乾燥した冷暗所で保管してください。

## 浄水のつくり方

**1**

(電源) ボタンを押してON（入）にします。
- 電源ランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス

美容　薬の飲用　3 2 1　酸性　浄水　還元水　電源　ランプ　ON(入)　用不可　飲用・料理

**2**

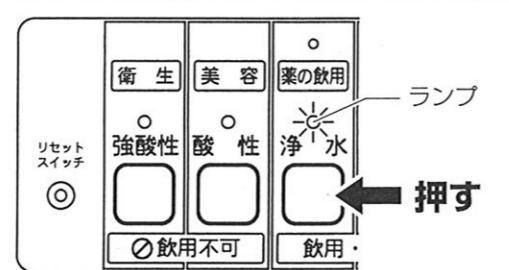
(浄水) ボタンを押します。
- 浄水ランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）＋音声ガイダンス

衛生　美容　薬の飲用　リセットスイッチ　強酸性　酸性　浄水　ランプ　押す　飲用不可　飲用・

**3**

①生成水専用蛇口のレバーを上にあげます。

生成水専用蛇口　レバー

②生成水が吐出します。
- 上部吐水口から 浄水 が吐出します。
  ※下部吐水口からも浄水が吐出しますが、使用しないでください。

音声ガイダンス

上部吐水口　浄水　下部吐水口　⚠注意 飲用不可　浄水

### ⚠ 注意

- 上部吐水口から吐出した浄水をご使用ください。
- 初期の生成水は、使用しないでください。
  （本体内残水を排出するため、30秒程度の捨て水をおこなってください。）
  ※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがありますが故障ではありません。
  （浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなってから取水してください。）

**4**

運転の停止方法

- 生成水専用蛇口のレバーを手前にたおして、生成を止めます。
  （連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。）



## クリーニングについて

### ⚠ 注意

- クリーニング時の水は、飲用しないでください。
- クリーニング中は、水を流したままの状態にしてください。

**電解槽内部の電極板にカルシウム等が付着すると、機器性能が低下する原因となりますので、本機では自動的にクリーニングに切り替えをおこないます。**

**1**

〈洗浄中〉

- 還元水・酸性水・強酸性水生成時に使用時間が15分になると、自動クリーニング予告をおこないます。
- クリーニング予告がされますと (還元水)・(酸性水)・(強酸性水)・(浄水) の各生成開始時、約30秒間自動クリーニングをおこない、その後、各生成を始めます。

⚠注意 **各モードの動作中は、途中で「クリーニング」には切り替わりません。次の通水開始時に自動クリーニングをおこないます。**

**2**

〈クリーニング予告のお知らせ〉

〈待機時〉

音声ガイダンス

クリーニング

液晶ディスプレイ　**生成モードの表示とクリーニングを交互に表示**

- 次の生成開始時に、クリーニングをおこなう場合には、左記のような予告表示をします。液晶ディスプレイで、選択された生成水とクリーニングを交互に表示して、待機します。

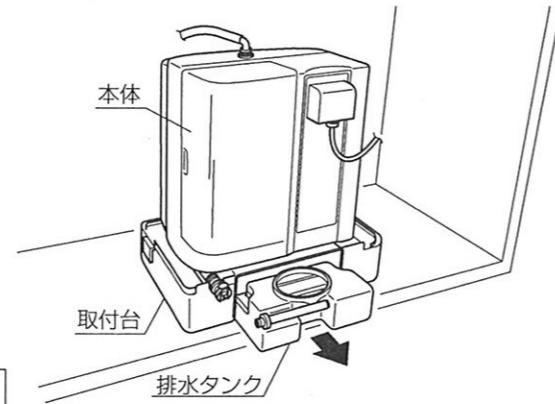
### このような場合、自動クリーニングします。

①使用時間が積算15分になったとき。
（還元水・酸性水・強酸性水生成時の場合は、生成後、クリーニング予告・待機に入ります。※浄水はのぞく）
②強酸性水生成後、還元水または、酸性水・浄水を生成するとき。
③24時間以上使用しなかったとき。

## 3 水抜き方法

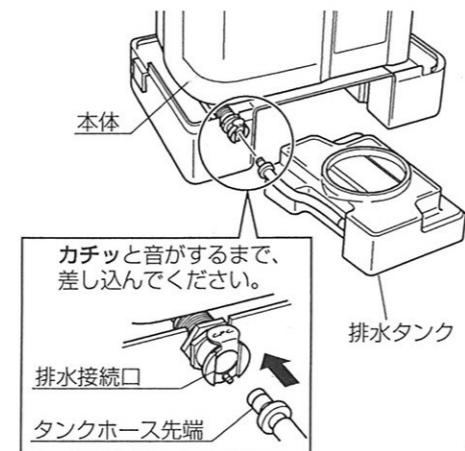
■本体内部に残っている水の逆流を防ぐため、排水をおこないます。
浄水フィルター・洗浄フィルター交換時、グリセロリン酸カルシウム添加時は、必ず下記の作業をおこなってください。

**1**

シンク内に設置されている本体下部の取付台より、排水タンクを取り出します。

⚠ 注意

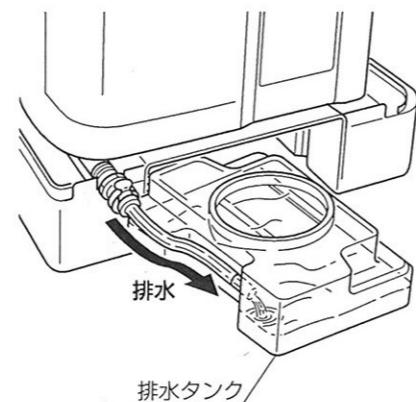
- 必ず水を止めた状態でおこなってください。

**2**

排水タンクに付いているタンクホース先端を、取付台の左側にある排水接続口につなぎます。

⚠ 注意

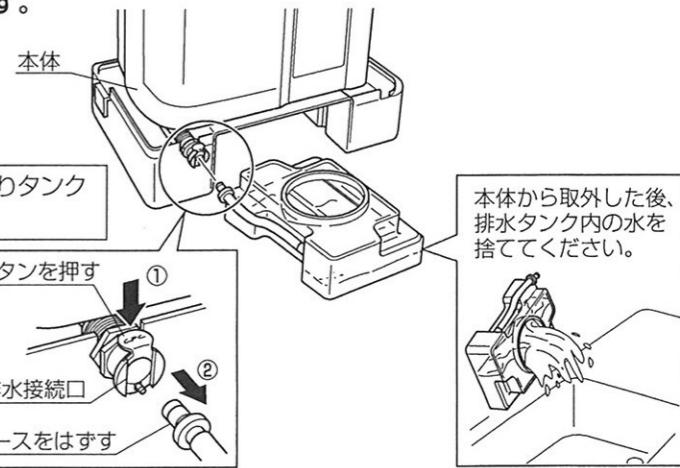
- タンクホース先端を排水接続口にカチッと音がするまで、差し込んでください。

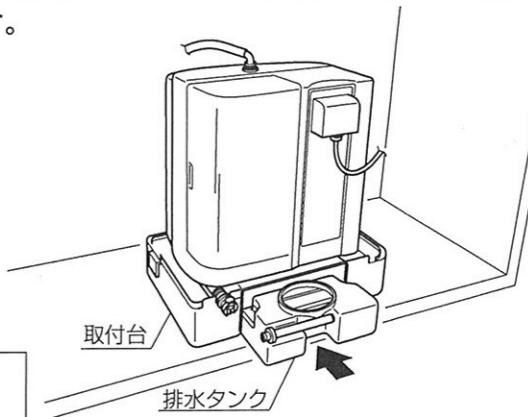
**3**

排水タンクに本体内の水が排水されます。
＜この状態のままで、浄水フィルターの交換（P.24～P.25参照）、洗浄フィルターの交換（P.29参照）、グリセロリン酸カルシウムの添加（P.15参照）をおこなってくだい。＞

**4**

排水が終了しましたら、排水タンクを本体から外し、排水タンク内の水を捨てます。

⚠ 注意

- 水抜き完了後、必ず排水接続口よりタンクホース先端を抜いてください。

**5**

水抜き完了後、排水タンクを元の位置に戻します。

⚠ 注意

- 排水タンクのタンクホースは、必ず排水接続口から抜いて取付台へ収納してください。
  ※接続状態で通水すると、排水タンク内に水が入り、あふれ出します。

# 4 浄水フィルターの交換方法

■浄水フィルターは、ご購入時標準装備しております。

（交換時は、別売の浄水フィルター①鉛・塩素等除去タイプ（MW-7000HG）、②塩素等除去タイプ（MW-7000R）の2種類をご用意いたしております。ご購入は、フリーダイヤル 0120-84-4132）へお問い合わせください。）

**1**

**浄水フィルターの交換をされる場合は、必ず本体の❸水抜き方法（P.22～23参照）を先に行ってください。**

浄水フィルター交換時期は、止水した時に、音声ガイダンス、アラーム音と操作パネルの液晶ディスプレイで、選択された生成水とフィルターコウカンを交互に表示してお知らせします。

●浄水フィルター交換時期

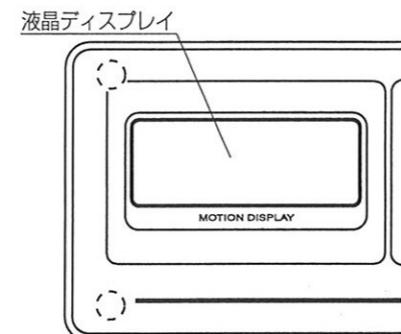
音声ガイダンス＋アラーム音＋ フィルター コウカン

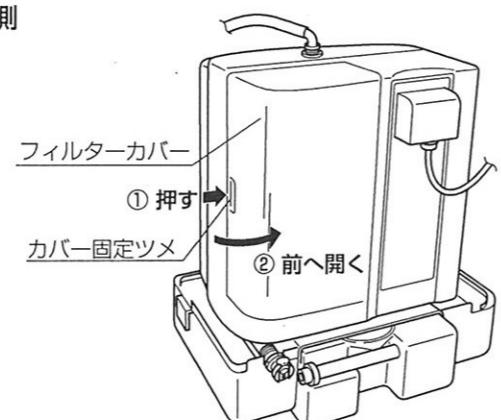
液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイ

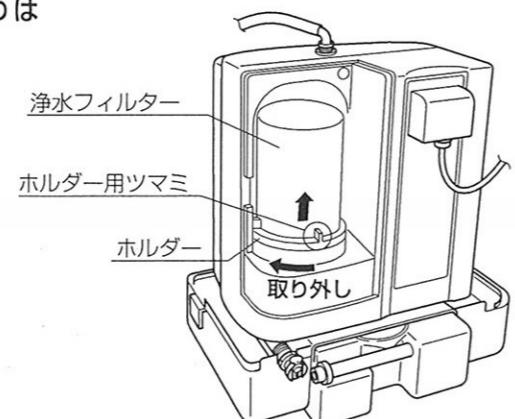
MOTION DISPLAY

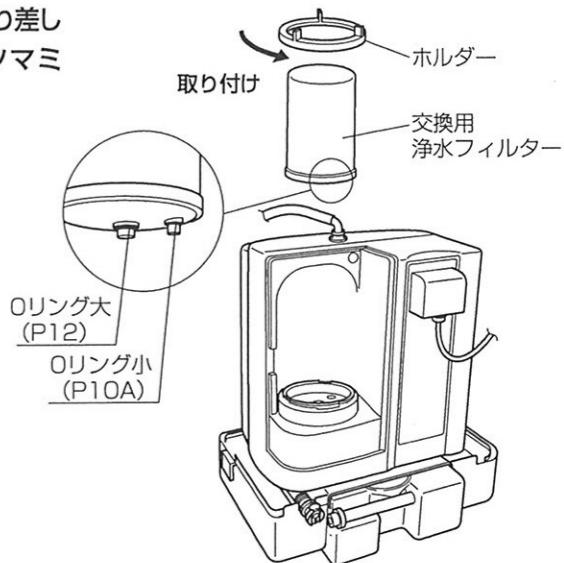
⚠ 注意

- 通水中は、「フィルターコウカン」は表示しません。
- 必ず水を止めてから交換作業を行ってください。

**2**

本体左側のカバー固定ツメを押しながら、前側に開けて、フィルターカバーをはずします。

ホルダーのツマミを左に約40度廻してロックをはずし、浄水フィルターを上に引き上げ、取りはずします。

⚠ 注意

- 取り外しの際、フィルター内に残った水が多少漏れますので注意してください。

**3**

本体に古いOリングが残っていないこと、取り付け位置をよく確認の上、浄水フィルターをしっかり差し込んで取り付け、浄水フィルターホルダーのツマミを右に約40度廻して固定します。

⚠ 注意

- 浄水フィルターにOリングが2箇所はめられているかご確認ください。
- 浄水フィルターホルダーがきっちりと入っているかご確認ください。

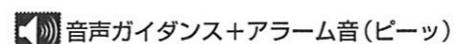
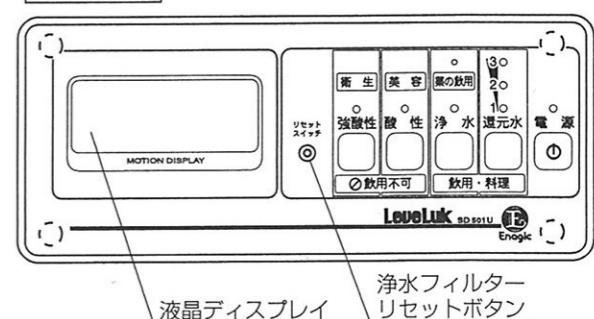
**4**

コントローラのリセットボタンを押します。
音声ガイダンスとアラーム音が「ピーッ」と鳴り、液晶ディスプレイに フィルター リセット と表示されます。

音声ガイダンス＋アラーム音（ピーッ）

コントローラ

衛生 美容 胃腸の飲用 3 2 1
強酸性 酸性 浄水 還元水 電源
リセットスイッチ
⊘飲用不可 飲用・料理
MOTION DISPLAY
LeveLuk SD501U Enagic

液晶ディスプレイ　浄水フィルター リセットボタン

フィルターカバーを取り付け、完了です。

⚠ 注意

- 交換用浄水フィルターは、必ず当社指定品をご使用ください。
  （指定外のものを使用すると、機能不備や故障の原因となります。）

# 5 安全に関するご注意

■ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

## ⚠警告

禁止

●生成した還元水を飲用する場合、次のことに注意ください。

・医薬品を生成水で飲用しないでください。
・無酸症の人は、生成水を飲用しないでください。
・飲用して身体に異常を感じたときは、医師または薬剤師に相談してください。
・医師の治療を受けている人や、身体に異常を感じているときは、使用前に医師または薬剤師に相談してください。

必ず守る

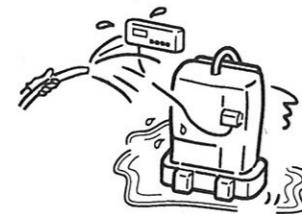
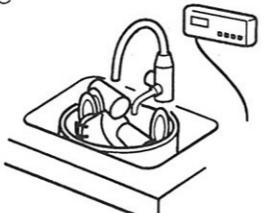
●お子様やお年寄りなどがご使用される場合は、十分な注意をお願いします。
〜事故の原因となります〜

## ⚠注意

必ず守る

●直射日光を避けてください。
〜変形の原因となります〜

●製品を掃除する時は、シンナー、ベンジン、クレンザー、塩素系洗剤などの使用はおやめください。
〜破損の原因となります〜

●製品に水や、油をかけないでください。
〜火災・感電の原因となります〜

●下部吐水口はふさがなでください。
〜水モレ、または、電解に支障をきたすことがあります〜

●製品を熱いものや、腐食性ガスのそばに置かないでください。
〜変形・破損の原因となります〜

●金魚や生き物などの水に、使用しないでください。
〜生育不良や、死亡の原因となります〜

## ⚠注意

必ず守る

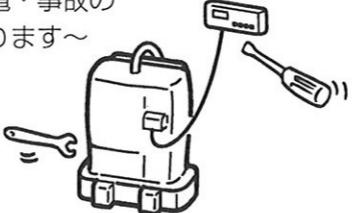
●本体の上に物を置かないでください。
〜故障または落下事故の原因となります〜

●電源コードを傷めたままで、ご使用にならないでください。
〜火災・感電・機能不備の原因となります〜

●分解・改造などは、しないでください。
〜火災・感電・事故の原因となります〜

●上部・下部吐水口の先端を水中に入れたままで、使用しないでください。
〜水中の内容物が機器内に逆流し機能不備・故障の原因となります〜

●塩水や、硬度の高い水を使用しないでください。
〜機器内部で損傷が発生したり、寿命が極端にみじかくなります〜

●水温40℃以上のお湯は、流さないでください。
〜破損や機能不備の原因となります〜

●冬期および寒冷地でご使用の場合は、浄水フィルター内の凍結にご注意ください。
(使用されないときは、浄水フィルターを取り外し、凍結しないように保管してください。この時は、リセットボタンをさわらないでください。
再度使用する場合は、3分以上の通水をおこなってから使用してください。)
〜破損や機能不備の原因となります〜

●初めて還元水を飲用でご使用になる場合。(医薬品を飲むときは、使用できません。)
・pH濃度(pH8.0)より少量ずつ(コップ1〜2杯)2週間程度慣れていただき、順次pH濃度(pH9.0〜pH9.5)に上げてご使用されることをおすすめします。

●発疹などの症状が出た場合。
・アレルギー性の方は、発疹などの症状が出る場合があります。その場合、飲用を中止し医師にご相談ください。

●飲料水に合格した水で使用してください。(水道水など)
・地域により塩素除去能力およびpH値に多少の差があります。

## 6 困った時は

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| キャビネット内よりブザー音がする。 | ●取付台に水が溜まっている。 | ■本体より水漏れの可能性あり。給水バルブをしめて、フリーダイヤルにお問い合わせください。 |
| アラーム音がなる | ●異常のお知らせ | ■液晶ディスプレイの指示に従う。 |
| 水が出ない。各種生成水の生成量が低下した。 | ●機器内部凍結。 | ■室温を上げ、解凍するまで待つ。 |
| | ●シンク下のホースが折れ曲がっている。 | ■折れないよう、伸ばす。 |
| | ●浄水フィルターの目詰まり | ■浄水フィルターを交換する。 |
| | ●給水バルブが閉じている。 | ■給水バルブを開ける。 |
| | ●取付台に水がたまっている。 | ■本体より水漏れの可能性あり。給水バルブをしめて、フリーダイヤルにお問い合わせください。 |
| | ●水量（水圧）が少ない。 | ■さらに生成水専用蛇口の蛇口を開ける。 |
| | ●洗浄時期 | ■E-クリーナーで洗浄する。 |
| 嫌な臭い、味がする。 | ●還元水pH濃度が高すぎ | ■pH濃度を下げる。 |
| | ●内部残水より発生 | ■しばらく通水し、内部残水を排出する。 |
| 電源が入らない。（電源ランプが点灯しない） | ●電源プラグをコンセントに入れていない。 | ■電源プラグをコンセントに差し込む。 |
| 還元水にカルキ臭がする。 | ●浄水フィルターの寿命。 | ■浄水フィルターを交換する。 |
| 還元水に白い浮遊物・沈殿物がでる。 | ●電気分解により生成されたカルシウム。 | ■酸性に切り替え、数分通水してください。 |
| | ●洗浄時期 | ■E-クリーナーで洗浄する。 |
| 強酸性水で生成される酸性水がpH2.7以下にならない。 | ●水量が多い | ■水栓を絞る |
| | ●電解促進液がなくなっている。 | ■電解促進液を補充する。 |
| 生成される還元水、酸性水のpH値が低下してきた。 | ●電気分解槽にカルシウムが付着している。 | ■酸性ボタンを押して、約1分以上通水し、電解槽洗浄をおこなう。 |
| | ●洗浄時期 | ■E-クリーナーで洗浄する。 |

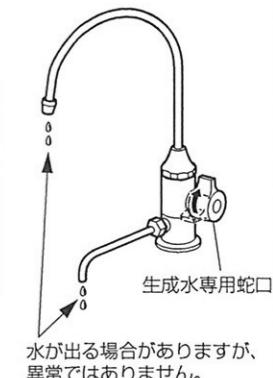


### ■水ぎれについて

本製品は「元止め方式」を採用のため、下記の現象が起こることがありますが、異常ではありません。

- 生成水専用蛇口を閉めても、すぐには水が止まらず、上部吐水口と下部吐水口から「ポタ、ポタ」と水が落ちる場合。

  この現象は、水温が低い場合（冬季や地下水使用）や浄水フィルター内部に空気が入り込んだ場合に起こりやすくなります。
  - 洗浄運転中には、電気分解による泡が発生するために、生成水専用蛇口内の残水が押し出されます。

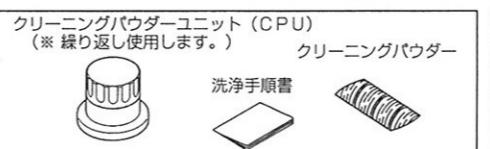
  ※水圧が高い場合にも起こりやすくなります。その場合、販売店（工事店）にご相談ください。

- 使用当初に比べ、水ぎれが悪くなる場合。

  使用するにつれて、浄水フィルターが目詰まりしたためです。気になるようでしたら、浄水フィルターを交換していただきますと、止水時の水ぎれは使用当初の状態に戻ります。

### ⚠注意 ■地下水に含まれる遊離炭酸による、pH試験液反応の変化

- 使用水道水の水質が、地下水を多く含んだ水質の場合や、井戸水を水道として利用している場合、地下水に多く含まれている遊離炭酸($H_2CO_3$)の量により、電解直後（1～2秒）に還元水のpH値が中性近くに戻ってしまう現象(pH試験液反応が、青色から緑色に変化)が、起こる場合があります。これは、地下水に溶け込んでいる遊離炭酸が、イオン化するために起こる現象であり、還元水のもつ特性が失なわれる現象ではなく、美味しい健康水となる事は変わりありません。
  - ・**テスト方法**：空の透明コップにpH試験液を3～4滴入れ、そのコップ内に還元水(pH9.5)を注ぐ。
  - ・**反　　応**：(注いだ直後)→青紫～青色に発色　（1～2秒後）→青色から緑色に変化

### E-クリーナーによる洗浄をおこなう

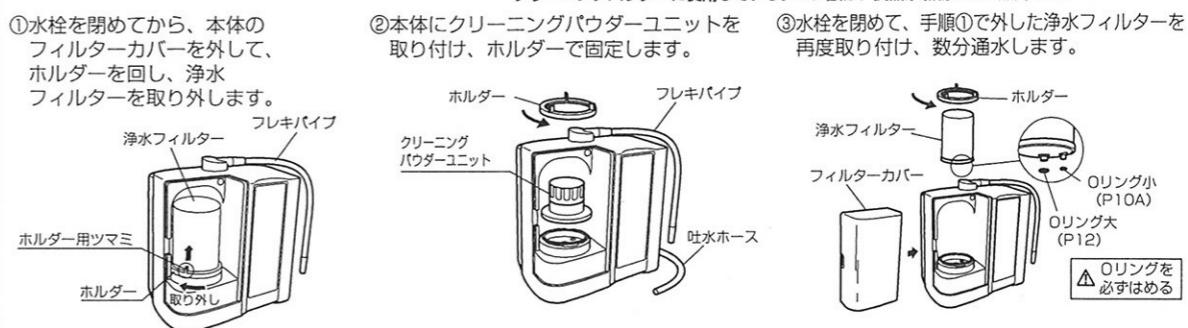
※詳しくは、「E-クリーナー洗浄手順書」をご参照ください。

⚠ご注意　**1～2週間に1回が目安**

- **必ず水栓を閉め**、運転を停止させてから洗浄を開始してください。
- 電源スイッチをOFF（切）にして、コンセントを抜いておこなってください。
- クリーニングパウダーは、当社品1包を1回分としてお使い下さい。他社品は機械が破損する恐れがあります。

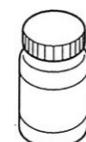
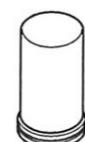
クリーニングパウダーに使用しているクエン酸は、食品添加物につき無害です。

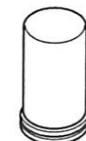
①水栓を閉めてから、本体のフィルターカバーを外して、ホルダーを回し、浄水フィルターを取り外します。

②本体にクリーニングパウダーユニットを取り付け、ホルダーで固定します。

③水栓を閉めて、手順①で外した浄水フィルターを再度取り付け、数分通水します。

# 7 オプションについて

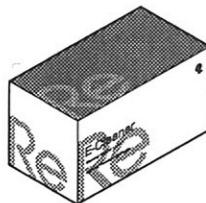
## ●オプション（別売）

①グリセロリン酸
カルシウム
（3g/12本入）

②ラピッドDPD
試薬（25g）
（残留塩素測定試薬）

③交換用浄水フィルター
塩素等除去タイプ

④交換用浄水フィルター
鉛・塩素等除去タイプ

⑤洗浄フィルター
CL-7000

⑥給水ホース
（1～5m）

⑦吐水ホース
（1～5m）

⑧電解促進液
（440mℓ）

⑨E-クリーナー
クリーニングパウダーユニット（CPU）
クリーニングパウダー（24本入）

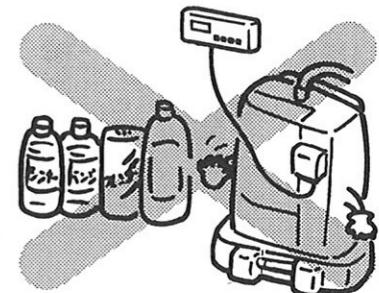
⑩クリーニングパウダー（24本入）



# 8 お手入れについて

長期間安心してご使用いただくため、以下のお手入れをおすすめします。

## 本体・コントローラ・水栓・ホース

●通常は水を含ませて固く絞った柔らかい布で水拭きします。
●汚れのひどい場合は中性洗剤を適度に薄めて使用し、その後水拭きします。
※クレンザー、シンナー、ベンジン、灯油、塩素系漂白剤は、キズ、変色の原因となるので使用しないでください。

## 長期間ご使用にならない場合、または凍結の可能性がある場合

●取扱説明書P.22～23を参照し、本体の水抜きをおこなってください。
●再度使用する場合は、3分以上の通水をおこなってから使用してください。
●凍結の可能性がある場合、使用されないときは、浄水フィルターを取り外し、凍結しないように保管してください。
この時は、リセットボタンをさわらないでください。

## 水漏れセンサーの動作確認

1年に1回程度、水漏れセンサーの動作確認をします。
①取付台左の取付台カバーをはずし、カバー下の水漏れセンサーを取り出します。
②センサーの電極2ヶ所をコップ等に入れた水に浸け、ブザー音が鳴り、非常用電磁バルブが閉じて、生成水専用蛇口を開いても水が出なくなっていることを確認します。
③センサーの電極を水から出し、ブザー音が止まり、非常用電磁バルブが開いて、生成水専用蛇口より水が出ることを確認します。
④上記確認後、センサーの電極の水分を十分に拭き取り、取付台の元の位置にセンサーおよび取付台カバーを取り付けます。

# 9 標準仕様

<table>
<tr><td colspan="3">品名・品番</td><td colspan="2">LevelukSD501U（アンダーシンクタイプ）</td></tr>
<tr><td colspan="3">給水仕様・接続</td><td colspan="2">給水元止め方式</td></tr>
<tr><td colspan="3">電　　源</td><td colspan="2">AC100V　50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">定格電流</td><td colspan="2">3.2A</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力</td><td colspan="2">約230W（還元水pH濃度強生成時）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">本体（取付台付）</td><td>寸法</td><td colspan="2">高さ365 × 幅300 × 奥行210（mm）</td></tr>
<tr><td>重量</td><td colspan="2">7.2kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">電解方式</td><td colspan="2">連続式電解方式（流量センサー内蔵）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">電解</td><td colspan="2">処理水量</td><td colspan="2">還 元 水:4.5L /分〜7.5L /分（水道圧0.2MPa）<br>強酸性水:0.6L /分〜1.2L /分（水道圧0.1MPa）</td></tr>
<tr><td colspan="2">生成水切り替え</td><td>7段階</td><td>還元水/3段階　（約pH8.0/pH9.0/pH9.5）<br>浄　水　（約pH7.0）<br>酸性水　（約pH6.0）<br>強酸性水　（約pH2.5）<br>強還元水　（約pH11.0〜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">連続使用可能時間</td><td colspan="2">常温時　還元水 約60分間／強酸性水 約30分間</td></tr>
<tr><td colspan="2">電解槽洗浄方式</td><td colspan="2">自動洗浄方式（洗浄時期をマイコンで制御）</td></tr>
<tr><td colspan="2">電解槽電極材質</td><td colspan="2">チタン白金メッキ</td></tr>
<tr><td rowspan="6">浄水フィルター</td><td colspan="2">ろ過材</td><td colspan="2">粒状抗菌活性炭+亜硫酸カルシウム+鉛除去活性炭</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ろ過能力</td><td>遊離残留塩素</td><td colspan="2">総ろ過水量12,000L 以上（除去率80%　JIS S3201試験）</td></tr>
<tr><td>初期塩素除去</td><td colspan="2">95%以上</td></tr>
<tr><td>鉛</td><td colspan="2">約6000L</td></tr>
<tr><td colspan="2">除去できない成分</td><td colspan="2">原水中に溶けている金属イオン・塩分</td></tr>
<tr><td colspan="2">寿　命</td><td colspan="2">約1年間、または12,000L 通水で交換表示（水質により異なります。）</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用可能水圧</td><td colspan="2">0.05MPa〜0.45MPa(約0.5kgf/cm$^2$〜4.5kgf/cm$^2$)</td></tr>
<tr><td colspan="3">電解促進液（強酸性水生成時）</td><td colspan="2">添加ポンプによる溶液添加方式</td></tr>
<tr><td colspan="3">電解促進液補充サイン</td><td colspan="2">音声ガイダンス･アラーム音･液晶ディスプレイによるお知らせ</td></tr>
</table>

●商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
●電解処理能力及び浄水フィルターの寿命は水質や使用状況により大幅に変わる場合があります。